

実施地域(武蔵野市)の紹介

● 武蔵野市とごみ削減への取組み

武蔵野市の一般廃棄物は、クリーンセンターで処理されたあと西多摩郡日の出町にある二ツ塚最終処分場に搬入されます。武蔵野市を含む多摩 25 市 1 町の約 390 万人の出すごみが搬入されているこの処分場は、平成 17 年 9 月までに全体埋立量の約 40%が埋め立てられました。二ツ塚最終処分場に続く最終処分場の確保は非常に困難な状況であり、この処分場を可能な限り使い続けることができるよう、武蔵野市では、全市をあげてごみの減量と、資源物の再資源化に取り組んでいます。

平成 12 年、容器包装リサイクル法において、「その他プラスチック容器包装」が対象となると、武蔵野市はいち早く、分別収集、資源化を開始しました。また、平成 16 年 10 月より家庭ごみ有料化及び市内全域での戸別収集を実施し、市民のごみ減量の意識はさらに高まっています。

事業者に対しても、グリーンパートナー制度 等において、レジ袋使用の削減、簡易包装、リターナブル容器での販売促進などの取組みを推進しています。

さらに、行政、事業者、市民が一体となって、「マイバッグキャンペーン」や「武蔵野ごみチャレンジ 700 グラムキャンペーン」を展開しています。

武蔵野市の「環境に配慮した事業活動参加届出制度」

● ロハスタウン吉祥寺

環境意識の高い住民層を反映し、武蔵野市内、特に吉祥寺には、古くから自然食レストランやエコショップの草分けが存在していました。ここ数年は、井の頭公園などの豊かな水と緑を有するこの町は「ロハスタウン」として親しまれ、市内外から訪れる多くのロハス層で賑わっています。

雑誌『ソトコト』(木楽舎)最新号(2007 年 12 月号)は、「ロハスタウン吉祥寺」の小特集を掲載しています。



「ロハスタウン吉祥寺ガイド」 113～123 ページ